

ふくい生衛だより

発行所/福井市松本3丁目16-10 (公助)福井県生活衛生営業指導センター 発行人/理事長 友本 正己 印刷所/(有)田中印刷堂

新年のごあいさつ



福井県知事 杉本 達治

皆様、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

天皇陛下が昨年五月にご即位され、新しい令和の時代が幕を開けました。県政も新時代を迎え、県民主役、徹底現場主義、市町協働を掲げて、県民の皆様と将来像を共有する「長期ビジョン」の策定を

進めています。

今、福井県は、三年後の北陸新幹線福井・敦賀開業、そしてその先の大阪全線開業など、百年に一度のチャンスを迎えています。人口減少、長寿命化、技術革新などの環境変化の中、「チームふくい」一丸となって県勢を一段と引き上げ、「自信と誇りのふくい」を次の世代へと引き継いでいかなければなりません。

新しい年は、「長期ビジョン」をつくりあげ、実行に移す年です。新幹線開業対策を加速させ、福井の豊かな文化・歴史・食などを活かしたワクワクドキドキのおもしろい地域づくり、インバウンドを含む観光やUターン促進など交流人口の拡大、新ビジネスの創出や魅力ある企業の誘致、先端技術の導入等による稼げる農林水産業の実現など、福井の可能性の拡大に向け、全力を尽くしてまいります。

また、子育て支援の拡充など将来世代を最優先にした人口減少対策の実行、子どもたちの個性を引き出し学びを楽しむ教育の推進、年齢・性別・国籍・障がいの有無に関わらず誰もが主役の共生社会の形成、地域医療や福祉の充実、災害に強い県土づくりなど、SDGsの理念に沿って、すべての世代がチャレンジできる社会、幸せ・安心を実感できる社会を目指します。

生活衛生関係事業者の皆様におかれましては、日頃から衛生水準ならびにサービスの向上に努められ、県民の安全で快適な生活の実現にご尽力いただいています。

近年では、国際化の進展や高齢化の加速により、生衛業界におきましても、日々変化するニーズへの対応が求められています。県といたしましては、県民生活と関わりの深い、業界の更なる発展に向けて引き続き積極的に支援してまいりますので、今後とも生活衛生行政の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター理事長
福井県生活衛生同業組合連合会会長

友本 正己

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃は当指導センターならびに当連合会の事業運営に深いご理解とご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、令和2年のわが国は、夏の東京五輪を軸として動きます。受動喫煙防止対策、外国人インバウンド対策は待ったなしです。五輪開催に伴う経済効果が持続されるかも気になるところです。さらに、3年後の北陸新幹線県内開業に向けて、本県業界あげてのおもてなし機運を高めていかななくてはなりません。

一方、組合員の高齢化、組合員数の伸び悩み、後継者不足といった問題点に、より一層しっかりと取り組まなければなりません。行政の支援はもとより、各業組合の将来を担う若手リーダーの奮起が期待されるところです。

皆様におかれましては、今後とも生衛業界の振興、発展により一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに、皆様のご健康と今後ますますのご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



謹んで新春のお慶びを申し上げます

(公財)福井県生活衛生営業指導センター役員一同



理事長 友本正己 (社交飲食業)

副理事長 山崎一美 (公衆浴場業)

理事 山田剛士 (美容業)

土田耕一 (旅館ホテル)

寶山榮一 (麺類業)

森谷淳一 (食肉)

専務理事 橋本利廣

監事 北川昌信 (クリーニング業)

中野達也 (理容)

有賀秀雄 (クリーニング業)

木村裕昌 (料理業)

熊谷靖 (喫茶飲食業)

窪田裕行 (福井県健康福祉部長)

光森幸夫 (中華料理)

伊井彌州雄 (興行)

塚田堅 (寿司商)

中村勉 (飲食業)

(令和2年1月1日現在)

栄えあるご受章

おめでとうございます

福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合理事長

熊谷 靖 氏

秋の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。



令和元年度生活衛生功労者の表彰

本年度の生活衛生功労者として、次の方々が栄えある厚生労働大臣表彰、福井県知事表彰、福井県生活衛生同業組合連合会長表彰を受賞されました。

日頃のご研鑽に敬意を表し、心からお祝いを申し上げますとともに今後とも益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

厚生労働大臣表彰

木田美代子（美容業） 山崎 一美（公衆浴場業）

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

池上 房代（美容業） 寶山 榮一（麺類業）

土田 耕一（旅館ホテル） 渡邊 良一（料理業）

福井県知事表彰

村上 光紀（理容） 早坂 良則（美容業） 北屋敷美佐江（美容業）

酒井 忠博（クリーニング） 土田 耕一（旅館ホテル） 藤堂 規行（喫茶飲食業）

廣瀬 信一（社交飲食業） 廣瀬 保岳（中華料理）

福井県生活衛生同業組合連合会長表彰

芝田 収一（理容） 谷口 肇（理容） 山下 和美（美容業）

安達 義治（公衆浴場業） 熊谷 剛（旅館ホテル） 血原 藤徳（麺類業）

吉田 実代（社交飲食業）

組 合 だ よ り

理容生活衛生同業組合

理容を通じて笑顔を届ける

昨年から、県警本部や福井県と協力し、特殊詐欺の被害防止に少しでもお役に立てるようお客様との会話の中に取り入れたり、子供を不審者から守るための夕方見守り運動を行ったりするなど、地域密着の理容店だからこそできるボランティア活動に力を入れてきました。

また、高齢化社会で在宅介護の方が増える一方、組合員も高齢のため廃業を余儀なくされている方が多く、地域の理容店が、我々の仲間が年々減ってきています。田舎だからこそ人が集まる理容店が必要であり、大切にしてきたお店やそこへ通ってくださった大切なお客様に対し、組合として何ができるかを考えた時に、「R I Y Oしよっさ」という事業継承を更に県内外へ広め、これからも幸福度日本一の福井で一緒に理容店をやりましょうという声掛けをしていくと共に、若手理容師の開業までのサポート体制の強化を図り、地域の活性化に繋がります。

地域社会の身近な存在として理容店が目指すことは、利用してくださるお客様に笑顔になっていただくこと、そうなるよう、組合は努力して参ります。

美容業生活衛生同業組合

福井県美容業生活衛生同業組合が発足して60年以上が経過してその間に日本は急速な高齢化社会を迎えています。その中で私たち美容組合は地域の皆様に少しでもお役に立ちたいという思いから、高齢化で美容所に通えないお年寄りの方や介護状態になり外出が困難になった方やその家族に対して「出張訪問美容」というサービスを開始しております。これは専用の番号にかけていただければ、組合加盟の美容所の美容師がそのお宅・施設等にお伺いしてカットなどのサービスを受けられるというものです。

また、組合として毎年12月に福井市内の介護施設に出向き、そこに入所されている方に無料でカットを行う「チャリティーカット」という事業を行っています。

人は年齢を重ねても美しく綺麗でありたいという願望があります。育ってきた地域でいつまでも元気でありたいという気持ちに少しでも貢献できたらと思っています。

クリーニング業生活衛生同業組合

近年は、衣替え文化の希薄化やカジュアル化、節約思考の高まりからクリーニング需要の減少が続いている。一方で、コインランドリーがブームになり利用者が増加傾向にあることから、利用者が自身のライフスタイルに合わせてクリーニング、家庭洗濯、コインランドリーを使い分けている。

しかし、取扱い表示や素材に関する知識、洗剤や漂白剤等の使い方に関する知識が十分ではなく、アイロン掛けなどへの関心も薄くなってきており、自己流の洗濯となっている。高機能な洗剤機器等の機器や洗剤等の改良が進む一方で、利用者の知識不足による家庭洗濯での失敗や不満が依然としてある。色落ちや縮み、型崩れ、汚れの蓄積やシミなどの洗い残り、臭いの蓄積などである。

「家庭で難しい場合にはクリーニング店にお任せください」と説明をすることで、クリーニング店の存在意識が高まるのではないだろうか。

公衆浴場業生活衛生同業組合

経営者の高齢化の影響で毎年廃業者が目立ち、公衆浴場業を取り巻く環境は誠に厳しくなってきた

ている中、他の入浴施設との差別化を図りながら如何にお客様のニーズに応じていくかを日々努力しております。

気持ち良く御利用をいただくための取り組みといたしまして、

- ・ 衛生水準の確保

年2回レジオネラ菌等による事故防止のための水質検査

- ・ 12月22日 ゆず湯（季節の風呂提供）
- ・ 「浴育」幼児体験入浴

地域の方と一丸となり幼児の心を育むために保育園、幼稚園の園児たちが地域の方々と入浴をして、公共施設でのマナーや体験学習によって、人の体の変化に思いやり慈しみ心を育み、地域の中で人間関係を練習するなど健全な青少年に導くための場所とする取り組み

- ・ 2018年には福井国体で選手や関係者への無料入浴での暖かいおもてなしを実施いたしました。

各支部におきましても、それぞれに地域性を生かしたサービスに取り組んでおります。

興行生活衛生同業組合

全国の映画興行収入のこれまでの最高は、「君の名は」「シン・ゴジラ」が大ヒットした2016年の2355億円でしたが、昨年は「天気の子」「アラジン」「トイ・ストーリー4」など数多くのヒット作に恵まれたことから、初めて2500億円を突破し歴代最高を記録しました。

また、IMAX、4DXといった付加価値のある興行やライブビューイングの増加により、客単価が上昇したことも一因と考えられます。

一方で、国民一人当たりの年間鑑賞回数は約1.6回と微増に留まっており、これは韓国の約50%にしか過ぎず、約5回のアメリカと比べるとかなり低い数字となっています。

若い方を中心にスマートホンやタブレットでの映画鑑賞が拡大していますが、画面の大きさや音響の良さによる迫力感、臨場感、見やすさなどは映画館でしか体感出来ません。このような映画館での映画鑑賞の良さを体感していただけるようPRに努めてまいりますとともに、お客さまにより快適にご利用いただけるようサービスの向上に組合員一同取り組んでまいりますので、1人でも多くの方に劇場に足を運んでいただきたいと思います。

旅館ホテル生活衛生同業組合

「旅館の、旅館による、旅館のためのインバウンドの教科書(中級編)」と「旅館・ホテルにおけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理手引書」の作成

訪日外国人数が3000万人の時代に突入し、日本各地では外国人であふれています。しかしながら、首都圏や主要箇所のみへの集中的な外国人客、まだいまだに旅館業界では言語の問題や受け入れ態勢の整備が不完全であったり、地方では地域振興やDMOの積極的創設にも関わらず、集客や活性化に悩む地域も多かったりなど、現実には厳しいものとなっています。

全旅連青年部では、前回(初級編)に続き、さらに先を目指す「インバウンドの教科書(中級編)」を作成しました。

また、訪日外国人の増加に伴い、宿泊客に対するさらなる食の安全が求められる中、わが国でも食品衛生管理の向上を図る上で、国際標準となっているHACCP(ハサップ)による衛生管理が

制度化されることとなりました。そこで、全旅連では「旅館・ホテルにおけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理手引書」を作成いたしました。

当組合では、この二つの冊子を全組合員の皆様に配布させていただきましたので、ご活用いただければ幸いです。

※まだ在庫が若干残っております。追加ご入り用の組合員の方は、県組合までお問い合わせください。



料理業生活衛生同業組合

第108回全料連福井大会

各組合一同様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。さて、昨年は全料連「兵庫大会」が6月19日、20日に神戸市で行われました。大会をつなげて、自然、歴史、文化に恵まれた我々の福井県での大会を迎えます。令和2年6月15日、16日に開催されます。福井県を代表する花は水仙で、木は松、県の鳥はつぐみ、魚介は越前ガニなど有名です。福井県は御食つ国（みけつくに）と称され、豊富な山海の幸と数々の伝統工芸に彩られた美食の地、今に息づく（ほんもの）と称され、その目と舌でお楽しみいただくことを福井県料理業組合役員一同、開催に向けて鋭意努力してまいりますので、全料連の組合ならびにご家族の方々にお声掛けいただき、ご参加をお待ち申し上げます。令和2年は東京オリンピック、パラリンピックの開催年です。第108回全国料理業福井大会の年です。福井県は農業のほか繊維工業、機械工業、眼鏡産業、打ち刃物、和紙などの製品、特に令和元年に開催されたラグビーワールドカップで日本代表が身に付けたジャージはまさに福井県の繊維メーカーが特殊技術を駆使して作り上げたもので、選手個人の体型に合わせ、耐久性に優れ、滑りにくく、動きやすい。他の強豪国にはないジャージを身に付け、日本はベスト8入りしました。第108回全国料理業福井大会を成功させたいと思っておりますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

寿司商生活衛生同業組合

全国すし技術コンクール再開！

すし業の振興を図り、伝統技術の伝承と向上を目的として、昭和51年から始まった技術コンクール。平成27年、名古屋の吹上ホールにて開催された第10回目を最後に、会場が確保できない等の問題から一時頓挫していましたが、中部ブロック大会での分科会をはじめ、理事長会議や技術委員会で何度も協議・検討を繰り返した結果、令和2年6月に再開する運びとなりました。

会場は大阪！初の関西ブロックでの開催です。今回はブロックごとに選手枠を選出するため、大会出場への切符を手にするのは、今までよりさらに厳しい状況になるかもしれません。しかし、大会までの6カ月、今成すべきことは何かを踏まえ、自分自身の努力はもちろん、先輩方から教わったことを如何にして実力に変えられるかが「鍵」であり、また、磨きに磨いた『技』で頂点を目指す

よう周りも協力し合い、十分に環境を整えてあげることとても大切なことだと思っています。

大きな晴れ舞台で皆の期待を背負い、日ごろ錬磨した技能、技術、感性を存分に発揮し、必ず栄冠を手にと！！と心より願います。

麺類業生活衛生同業組合

第1回福井県高校生そば打ち選手権大会開催される

そば打ちに取り組む県内の高校生のレベルアップにつなげようと、県内初の大会が令和元年8月7日に福井市内で開催された。全国大会（そば打ち甲子園）に出場する生徒らが、本番に向けて手際よく作業を進め、おいしそうなそばを仕上げた。

福井県大会は当組合が企画運営し、県勢は全国大会に4回連続で出場しており、過去には個人戦にて3位入賞という実績もあり、今回も団体戦に丸岡高校、科学技術高校、啓新高校、個人戦には武生高校池田分校を加えた4校の生徒が挑んだ。

福井市成和2丁目の共同製麺所で開かれた大会で、4人1組でそばを打つ団体戦に4校5チームが出場。40分の制限時間内で、4分ごとに交代しながら、そば粉に水を混ぜる「水廻し」、粘り気を出していく「練り」、生地を伸ばしていく「のし」、均等に切り揃えていく「切り」などのパートに分けてそれぞれの技術を競った。審査の結果、団体、個人ともに啓新が上位を独占。全国大会に向けて大いに弾みを付けた。組合としても、今後も毎年福井大会を続けていく必要性を感じた。

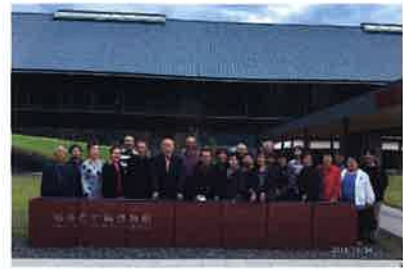


喫茶飲食業生活衛生同業組合

去る10月15日消費税改定に伴う国の助成金事業として、軽減税率対応セミナーを開催しました。ホテルフクイキャッスルにて37名参加。一口に食品は8%といっても店内飲食のほか別途請求する容器代は10%になるなど、ケースによって相当複雑化します。セミナーを終えて「一度の勉強会ではとても理解に程遠いですね」との全体意見でした。まだまだ機会あるごとに組合員にお知らせしていきたいと思っています。

10月15日の同日、日本コーヒー文化学会役員でもある当組合役員の山田和則氏による講習会を開催しました。中でも水素焙煎システムによる水素コーヒーは豆の酸化を抑え味の変化も少ないとのお話で、今後も研究開発は必要ながら喫茶業界の助けになることを期待します。

秋の研修旅行では、一昨年オープンした『年縞博物館』学芸員の説明を聞きながらの見学は地球の歴史が垣間見えて、世界一の長さを誇る年縞に大いに感動しました。若狭の海鮮バーベキュー、久しぶりのレイポーラインからの眺望も格別でした。当組合ではこれからも色々な企画を一層進めてまいります。組合未加入のオーナー様も是非加入いただき、一緒に楽しみましょう。



飲食業生活衛生同業組合

当組合は、振興事業の一環として各支部当番制で、毎年料理慰問をしています。令和元年度最初は、鯖江支部が児童養護施設「吉江学園」で自慢の料理を振る舞いました。同施設への訪問は4年ぶりです。役員10名が訪れ、各々店の技術を生かし、子供たちの大好きなメニュー、やきとり、おむすび、からあげ、ハンバーグ、フルーツを用意。3歳から18歳の子供たち、職員の約50人が舌鼓を打ちました。焼き鳥は炭火を使って、現地で焼いた本格的な味。食事をしている子供たちの元気のある顔を見ていると私たちも元気になります。

今後も組合員の協力のもとでこのような事業を継続して、地域の社会貢献と組合の組織拡大に繋げていきたいと思えます。



社交飲食業生活衛生同業組合

昨年12月に創立60周年記念誌を発刊いたしました。社交組合として、創立30周年記念誌に次いで2度目の発刊となりました。二つの記念誌を比べてみると当時から続いている行事や無くなった催しなど時代の流れを感じます。その中で、一番の特徴は組合員の減少です。昭和50年代をピークに年々減少していますが、減少の大きな要因として経営悪化に伴う店舗の減少があげられます。

話は変わりますが、昨年3月、厚生労働省から生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのマニュアル社交業編が出ました。全国の20代から70代の男女へのインターネット調査の結果がその中に出ていました。気になるのは、「バー、スナック、パブ、飲み屋」の利用状況が減少していること。社交業の事業者の最大の問題は「客数の減少」であること。バー、スナック、パブの利用経験者について三年前と比べて、「利用頻度」「一人あたりの利用額」がいずれも「減った」とする人の割合が大きくなっています。また、未経験者についての利用しない理由は、「料金が高いと思うから」「ひとりでは入りづらい」となっています。利用経験者の店を選ぶ際、「料金」と「店の雰囲気」を重視していることも分かりました。これらのことから、地域活性化行事として組合で毎年行っている「はしご酒大会」は、低料金で、日ごろ入ったことのない店も入れるなど、利用者や未経験者に、よい機会を提供していると心強く思いました。昨年は敦賀市で10月16日に「令和わいわいはしご酒大会」として開催いたしました。

食肉生活衛生同業組合

「食肉の栄養・調理実演講習会」の開催

食肉に関する正しい栄養情報の理解度を上げることで健康な身体づくりに繋げると共に、食肉販売事業者の生産性の向上と経営の安定化を図ることを目的として、一般消費者を対象に、見出しの講習会を開催しました。

浅田クッキングスクール校長である浅田容子先生を講師にお招きし、健康な身体を作るために絶対欠かせないのがタンパク質。中でもお肉にはとても良質なたんぱく質が豊富に含まれていること、また、老化防止や美容に役立つビタミンも非常に多く含まれていること、そして何より日本のお肉、国産の食肉が安全で安心して食べられるお肉であることを教えていただいた後、牛肉・豚肉を豊富に使った料理を作成しました。参加者からは、レストランで食べると思っていたメニューが家庭でも簡単においしくできることが分かり、また、外国産の安いお肉も今はたくさんあるけれど、やっぱり安心して食べられる国産のお肉を使ってこれからもいろいろなお肉料理に挑戦していきたい。との声が聞かれ、とても有意義な講習会になったと思います。



なお、昨年福井県でもCSF（豚コレラ）が発生し、養豚業者や豚肉の流通が大きな打撃を受けました。生衛議員団と共に知事や農林水産部長に、回復に向けた1日も早い対応や手厚い支援を求め、県庁を訪問して直接要請いたしました。

中華料理生活衛生同業組合

第52回全国中華料理業岐阜大会の参加にあたって

JR高山線では列車からの眺めは昔懐かしい景色、香り、雰囲気は漂い、高山駅には外国人が大勢いてにぎわっていました。

大会宣言文では、「現在各都道府県の組合員数が年々減少している。この現象は中華業界だけのことではないが、各界共通の悩みとなっている。」我々の地で個店として頑張っている限りあまり感じられないかもしれませんが、経営者が高齢となり、後継者不在で廃業、都市再開発に伴って廃業、チェーン店、コンビニ等に押されて廃業等々厳しい現状はそこここに出ています。また、従業員不足、賃金の高騰、厚生年金への移行等で経営難に喘ぐ仲間が増えています。以前ほど利益が上がらない現在、組合費を払っていく意義があるのかという気持ちからの脱退も増えています。つらい現実を認めなくてはならない時になっています。

(1) 次世代につなごう誇りを、技術を (2) 昭和、平成、令和、いつの時代も街中華
(3) お客様の笑顔は、明るい笑顔の接客から (4) HACCPで安全安心中華料理
の「スローガン」を唱えたあと、会場にてがんばろうで締めくくりました。

生活衛生営業指導センター・連合会からのお知らせ

衛生水準の確保・向上事業について

令和元年9月17日(火)に福井県職員会館において、県内の生活衛生同業組合、福井県、日本政策金融公庫および当指導センターで構成する「第1回衛生水準の確保・向上事業推進会議」を開催し、「令和元年度衛生水準の確保・向上事業行動計画」を策定いたしました。この会議では、行動計画に基づき、生衛組合の周知広報や組合加入の促進、衛生管理の自主点検など、組合活動の活性化への取り組みを重点的に展開することについて確認しました。なお、第2回推進会議は、令和2年2月6日(木)に開催する予定で、各行動計画に基づいて実施した事業について報告・評価をすることとしております。

クリーニング師研修を開催しました

令和元年度のクリーニング師研修が11月17日(日)福井県職員会館で開催されました。33名の方が参加し熱心に講義を聴講され、好評のうちに終了し、最後に修了証書とステッカーが交付されました。今後も、クリーニング業法により3年以内に1回の受講が義務付けられている研修を必ず受講していただきますようお願いいたします。



後継者育成支援事業

(理容競技大会および高校生インターンシップの実施)

令和元年5月13日(月)に、福井県美容業生活衛生同業組合による「第65回福井県理容競技大会」を、また6～10月に各協力事業所において高校生のインターンシップを実施しました。理容競技大会では、福井県理容組合傘下の理容師のほか、福井県理容美容専門学校2年生47名が参加を申し込み、カットやパーマなどそれぞれの競技種目において技術を競いました。インターンシップでは、福井商業高等学校、丹南高等学校、北陸高等学校の生徒が職場体験をし、生衛業の仕事の内容を少し理解ができたほか、熟練した人と同じような働きをすることの難しさを知るなど貴重な体験をしました。



理容競技大会

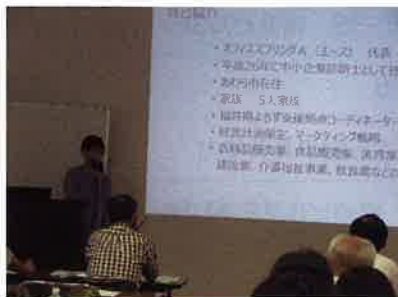


高校生インターンシップ

経営特別相談員研修会を開催しました

本年度の経営特別相談員研修会を福井県職員会館において7月9日(火)開催しました。

この研修会には、福井県から委嘱された40名の経営特別相談員を対象として、「生活衛生業における収益力向上」「最低賃金および業務改善助成金等について」「衛経に関するテーマ」の講演等があり、受講者は質問をしたり、メモをとったりなど、有意義な研修会になりました。



福井県議会生衛議員団との懇談会を開催しました

令和元年10月23日(水)、県議会生衛議員団(山本芳男県会議員、斉藤新緑県会議員、松田泰典県会議員、田村康夫県会議員、鈴木宏紀県会議員、小堀友廣県会議員)と各組合理事長との懇談会が「福井パレスホテル」で開催されました。

懇談会では、組合が抱えている現状と課題・要望について、各理事長から説明があり、県議会生衛議員団に理解と協力をお願いいたしました。県議会生衛議員団からは、生衛業の発展・活性化のために頑張りたいとお言葉をいただきました。

ふくい生衛組合活性化塾を開催しました

令和元年12月2日(月)に全国指導センターとの共催により、ふくい生衛組合活性化塾が職員会館で開催されました。全国指導センター企画部長の秋本若夫氏を講師に、また、滋賀県旅館・ホテル組合から楠元昌樹氏に助言者として出席いただき、組合の活性化に向けた意見交換を行いました。

参加者は組合事務局と若手リーダーの計23名で、生衛法や生衛組合の成り立ちを踏まえ、組合の存在意義は何か、財政基盤を強化し活力ある組合活動を行うにはどうすればよいか、組合員間のコミュニケーションのあり方等について大変参考となる話を聞けたと好評でした。



◆ 生活衛生同業組合 ◆

組 合 名	団 体 住 所		電 話
福井県理容生活衛生同業組合	〒910-1142	吉田郡永平寺町松岡兼定島34-3-2	0776-61-2443
福井県美容業生活衛生同業組合	〒918-8237	福井市和田東2-1713	0776-28-5200
福井県クリーニング業生活衛生同業組合	〒910-0015	福井市二の宮2-28-38 福弘ビル3F	0776-23-4044
福井県公衆浴場業生活衛生同業組合	〒910-0026	福井市光陽4-2-26	0776-22-2761
福井県興行生活衛生同業組合	〒910-0006	福井市中央1-17-12 (株)伊井興業内	0776-21-1511
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合	〒910-0005	福井市大手3-7-1 織協ビル7F 712号	0776-22-7449
福井県料理業生活衛生同業組合	〒915-0076	越前市国府1-11-5 糸屋内	0778-22-0054
福井県寿司商生活衛生同業組合	〒910-8537	福井市大和田1-101 中央市場関連商品売場棟	0776-53-3040
福井県麺類業生活衛生同業組合	〒915-0066	越前市神明町1-8 うどん坊山むろ内	0778-23-0096
福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合	〒918-8239	福井市成和1-3123	0776-21-7839
福井県飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-25-0555
福井県社交飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-23-4833
福井県食肉生活衛生同業組合	〒910-8580	福井市大手3-17-1 福井県中山間農業・畜産課内	0776-20-0439
福井県中華料理生活衛生同業組合	〒918-8001	福井市つくも2-1-22 来々軒内	0776-36-8200

＼消費税の軽減税率制度／



消費税確定申告書を作成するためには、
「区分経理」が必要です。

消費税の軽減税率制度の実施に伴い、消費税確定申告書を作成するためには…



売上げや仕入れ(経費)を税率ごとに区分して
帳簿に記載する「区分経理」を行う必要があります。

軽減税率制度に関するお問合せ先

● 軽減コールセンター〈消費税軽減税率電話相談センター〉

☎ フリーダイヤル/ 0120-205-553

🕒 受付時間/ 9:00～17:00 (土日祝除く)

国税庁ホームページ

右のコードから特設サイトへ

軽減税率 国税庁

検索

